

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年09月06日

計画の名称	佐和駅を中心とした安心・安全に暮らせる拠点づくり（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	ひたちなか市												
計画の目標	土地区画整理事業を活用し、都市計画道路や駅前広場といった佐和駅周辺の歩行空間を効果的・機能的に整備することで、だれもが安心・安全に暮らせる良好な街並みを形成する。 また、佐和駅の利用環境の改善施策を実施し、地域の玄関口としてふさわしいアクセス性・利便性を確保した交通結節点を整備することで、都市的機能の誘導に寄与する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,360	A	2,360	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	佐和駅周辺における通学路の緊急合同点検により公表された交通安全対策を実施することにより、交通事故死傷者数を5年で10%削減する。 交通事故死傷者件数（佐和駅周辺半径1km） 茨城デジタルマップ（交通事故発生マップ）の事故件数	55件	52件	50件
2	都市計画道路及び区画道路の整備を行い、緊急車両の通行が困難な現況道路を改善させることで、防災機能を備えた街づくりを推進し、幅員5m以上の道路に接道する宅地面積を5年で4%上昇させる。 緊急車両到達可能範囲 使用収益開始済の仮換地面積及び使用可能な保留地面積 / 区画整理後の宅地面積及び保留地面積合計 × 100	15%	17%	19%
3	交通結節点となる佐和駅の利用環境を改善することで、商業施設や公共・福祉機能などを誘導し、佐和駅の利用者数を5年で5%上昇させる。 佐和駅乗降者数 JR公表値	7642人	7835人	8025人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	ひたちなか市	直接	ひたちなか市	区画	改築	佐和駅東地区((都)高場高野線ほか3路線)	区画整理 A=56.7ha	ひたちなか市					780	-		
	A01-002	街路	一般	ひたちなか市	直接	ひたちなか市	区画	改築	佐和駅東地区(佐和駅東口交通広場ほか1路線)	区画整理 A=56.7ha	ひたちなか市					402	-		
	A01-003	街路	一般	ひたちなか市	直接	ひたちなか市	市町村道	改築	(都)東中根高場線	現道拡幅 L=0.55km	ひたちなか市					930	-		
	A01-004	街路	一般	ひたちなか市	直接	ひたちなか市	S街路	新設	(都)佐和駅東西自由通路線	新設 L=0.09km	ひたちなか市					248	-		
											小計					2,360			
											合計					2,360			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
ひたちなか市都市整備部区画整理事業所区画整理一課において実施	令和4年度
	公表の方法
	市HP掲載（区画整理一課）
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	佐和駅周辺において通学路の点検及び交通安全対策を実施することにより交通事故件数を52%削減した。 都市計画道路及び区画道路の整備により、緊急車両の到達可能が11%増加した。 交通結節点となる佐和駅へのアクセス道路の整備により佐和駅の利用者数が1.7%増加した。現在改築中である佐和駅新駅舎及び令和5年度完成予定の東口交通広場による、さらなる利用者増加が見込まれる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
引き続き次期計画において区画整理事業を進め、安心・安全に暮らせる拠点の形成を図る。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	50件
	最終実績値	26件
2	最終目標値	19%
	最終実績値	26%
3	最終目標値	8025人
	最終実績値	7774人
		令和3年度時点で駅舎改築工事のため